



鎌倉大仏 (鎌倉市中央図書館蔵)  
お像が約 46cm 前進した。



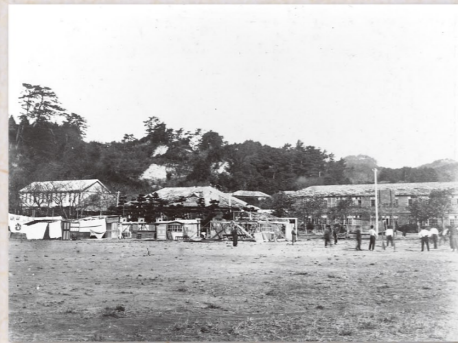
鎌倉大仏 (絵葉書)



荏柄天神社本殿 (鎌倉市中央図書館蔵)



鶴岡八幡宮 (鎌倉市中央図書館蔵)



鎌倉師範学校 (現横浜国立大学附属小中学校)  
(鎌倉市中央図書館蔵)



小袋坂新道 (鎌倉市中央図書館蔵)



鎌倉停車場前の火災跡  
(鎌倉市中央図書館蔵)



倒壊した町役場 (鎌倉停車場前)  
(鎌倉市中央図書館蔵)  
江ノ電の車輛(左)は「海軍派遣員詰所」である。



鎌倉小学校 (現市立第一小学校)  
(鎌倉市中央図書館蔵)



坂ノ下の津波跡 (鎌倉市中央図書館蔵)



長谷の火災跡 (鎌倉市中央図書館蔵)



七里ガ浜 (鎌倉市中央図書館蔵)

## 鎌倉近世近代歴史地震年表 「元禄地震」から「大正関東地震」まで

西暦	年・月・日	被災地	被害の概要
1697	元禄10.10.12 (江戸時代)	武蔵・相模 〔鎌倉〕	鎌倉が最も激甚であったという。鶴岡八幡宮で堂社と鳥居が倒れたほか、寺社や市中の民家に被害が出たことが記録に見える。
1703	同 16.11.22 (江戸時代)	武蔵・相模・ 安房・上総 〔鎌倉〕	【元禄地震】江戸・小田原・鎌倉が激甚といい、とくに津波で伊豆方面や房総半島外房のほか、相模沿岸部が被災した。鎌倉では、「切通七口」等通行路が各所で崩落し、町屋や小坪道・江の島・六浦道が破損。寺社では鶴岡八幡宮・建長寺・円覚寺・東慶寺・明月院・浄智寺などに大きな被害が出たという。津波は「二の鳥井」まで浸水して光明寺ほか海浜部に被害を及ぼし、当時材木座にあった「荒居間魔堂」(円応寺)を壊滅させた。
1707	宝永 4.10. 4 (江戸時代)	関西・東南海 〔小田原〕	【宝永地震】駿河・三河・遠江・紀伊・摂津の諸国の被害が甚しく、津波が伊豆半島から九州沿岸、瀬戸内海に及んだと伝える。小田原にも被害があったというが、詳細は不明。関東は比較的軽微であったようである。
	同 4.11.23	武蔵・相模 〔鎌倉〕	【宝永富士山噴火】武蔵・相模・駿河の三国では、降灰や降砂のため河川や田畑に大きな被害があったという。
1853	嘉永 6. 2. 2 (江戸時代)	相模 〔鎌倉〕	【嘉永小田原地震】小田原城の天守閣で瓦と壁が落ちたという。小田原領で壊家約 1,000 棟、死者 24 人で、鎌倉の各所にも被害の記録がある。
1854	安政 1.11. 4 (江戸時代)	東海・東山・ 南海諸道 〔鎌倉〕	【安政東海地震】被害は沼津から伊勢に至る沿岸と、甲斐・信濃・近江・越前・加賀に及び、津波が房総から土佐までの沿岸部を襲ったため、さらに拡大したという。倒壊・焼失約 30,000 棟、死者は 2～3,000 人。三浦郡浦賀湊・同大津三崎・同大田和村・金沢・鎌倉・江の島・藤沢などに地震及び津波被害の記録がある。
1854	同 1.11. 5 (江戸時代)	畿内・東海・ 東山・北陸・ 南海・山陽道 〔鎌倉〕	【安政南海地震】前の地震の 30 数時間後に発生。被害は近畿・中国・四国全部と九州・中部地方の一部に及んだという。津波は串本(和歌山県)で最大約 15 m の推定高があり、死者は全体で数千人であった。三浦郡大田和村で再度津波浸水の記録があることから、相模沿岸部は二日にわたって津波を受けたと考えられる。
1855	同 2.10. 2 (江戸時代)	江戸・相模 〔鎌倉〕	【安政江戸地震】震源地は江戸のほぼ直下と推定され、同所町方の被害は壊家及び焼失家屋約 14,000 棟、死者約 7,000 人に達したとされる。相模では一宮のほか厚木と藤沢にかなりの損害があり、三浦郡では上宮田の陣屋に被害が出、ここで 6 名の死者と多くの負傷者があったという。鎌倉の常盤村で民家一軒全潰か。なお、津波の有無については定かでない。
1880	明治13. 2.22	東京・神奈川	横浜で多くの煙突が破損し、民家の壁が崩れたという。東京の被害は軽微であった。
1894	同 27. 6.20	東京・神奈川 〔鎌倉〕	【明治東京地震】東京・川崎・横浜で死者 31 人、負傷者 157 人との記録がある。東京・横浜が激甚で、鎌倉にも被害があったというが、詳細は不明である。
1909	同 42. 3.13	千葉・神奈川	横浜の被害が激しく、煉瓦壁や煙突が崩れたという。
1923	大正12. 9. 1	関東一帯 〔鎌倉〕	【大正関東地震】東京都・神奈川県・千葉県・茨城県のほか静岡県東部にまで甚大な被害を及ぼした。鎌倉と横浜が激甚といい各所で地割れを生じ、建物の倒壊や火災の発生・広範囲にわたる延焼があった。また、津波が相模湾沿岸に襲来し、鎌倉では材木座や坂ノ下などが広く浸水した。被害は全体で約 105,000 人が死亡あるいは行方不明になったとされる。神奈川県は、死者約 29,000 人、行方不明約 2,000 人、負傷者約 19,000 人、家屋全壊約 47,000 棟、全焼約 69,000 棟、流失約 400 棟などである。
1924	同 13. 1.15	東京・神奈川・ 山梨 〔鎌倉〕	【丹沢地震】神奈川県西部で発生。大正関東地震後の最大の余震か。死者 19 人、負傷者 638 人で、損失家屋は住家全壊約 1,200 棟、ほかに倉庫や納屋などの全壊は約 6,000 棟等であったという。鎌倉でも建物などに被害あり。